

基準タイムのあるクラスの主な規則（罰則） 抜粋表

対象クラス	基準タイム	参加・グリッドペナルティ	賞典ペナルティ
Enjoy クラス	50 秒/周	<ul style="list-style-type: none"> ●同クラスに連続参加の場合、上位3位までの入賞者は次戦予選タイムに関係なくリバースグリッドとなる ●賞典外になった参加者は次戦より同クラスに参加不可で、それまでのシリーズポイントは失効する 	<ul style="list-style-type: none"> ●練習～決勝中、規定ラップタイムを一回以上超えた（切った）場合は賞典外とし、練習・予選で超えた場合の決勝グリッドはリバースとなる ●練習～決勝中にライダーがラップタイムを知り得る機器装着やラップタイム情報を知り得た場合は失格とする ●ピットサインは周回数・順位・前車/後車との間隔情報を OK とするが、ペース指示を意味するサインは失格の対象とする
Rookie クラス	48 秒/周		
Novice クラス	46 秒/周		
GROMcup(RC)クラス	47 秒/周		
M-A クラス	46 秒/周		

- ラップタイムが超過していなくても、競技役員（判事）がラップタイム調整していると判断したライダーには上記罰則を適用します。
上記の役員判断に対する抗議は一切受け付けません。

